

種智院大學 同窓會報

第27号

平成14年1月31日

種智院大学同窓会

〒612-8256

京都市伏見区向島西定請70

TEL(075)604-5600 FAX(075)604-5610

種智院大学同窓会総会



平成13年度同窓会総会が、平成13年6月30日午後2時より、講義室401で開催された。

池田登輝同窓会長の挨拶に続いて、今井圓明学長の祝辞があり、大学のおかれた厳しい状況の中、仏教と福祉の特色を出し、なんとか頑張っているところである。同窓会の皆様にもご理解とご協力をぜひともお願いしたい旨の挨拶であった。

引き続き議事に入り、足立有教師を座長に選出した後、次第にそって議案審議が進められた。①平成12年度事業報告・決算報告（別表1）が報告され、異議なく承認された。②平成11年度以来同窓会会員が一九となり進めてきた同窓会特別事業「種智院大学講堂の本尊及び仏具等寄付金」勸募の結果報告（別表3）がおこなわれ、結果は勸募予定額には満たなかったものの、経常費の中から十分に補填することのできる金額であり、これをもって特別事業を終了することが承認された。

続いて協議事項に入り、①平成13年度事業計画・13年度予算案について、事務局から説明があり、原案通り承認された。

②その他のイとして、事務局から役員人事についての説明があり、顧問に、律宗管長唐招提寺長老の益田快範大僧正、清荒神清澄寺法主坂本光謙大僧正、真言宗ハワイ別院の開教区総監別院主監の北川泰道僧正の三師を推載する案が出され承認された。また、同窓会会則の細部が文章の規定に適合しない事が判明し、表現を統一するように調整されている事が伝えられ、その内容を説明の上、異議無く可決した。

その他のロとして、事務局からのお知らせとして、大阪支部の活動報告を紹介し、各支部への今後の活動の活性化を求めた。

最後に、入試パンフレットについて、入試広報部長の橋本助教授より、宗門関係者入試に焦点を絞った話があり、より多くの学生を種智院大学に送ってもらえるよう、理解を求めた。

引き続き、大阪大学名誉教授加地伸行氏の講師で「日本仏教と儒教」と題した記念公演が行われた。中国思想と日本仏教のかかわりを平易に説き、予定時間を30分も延長するほどであった。記念撮影の後、会場をホテル日航ブリッセス京都に移し、懇親会を開催し、親睦を深めた。

別表1

種智院大学同窓会 平成12年度決算書

収入の部

(単位：円)

| 勘定科目 | 12年度予算 | 12年度決算 | 比較増減 | 備 考 |
|---------|------------|------------|-----------|---------------------|
| 会 費 | 4,010,000 | 3,340,000 | 670,000 | 終身177名。入学辞退者10名。 |
| 懇親会費 | 700,000 | 385,000 | 315,000 | @10,000×37。@5,000×3 |
| 受取利息配当金 | 500,000 | 496,134 | 3,866 | 定期・普通預金。郵便貯金。 |
| 雑収入金 | 150,000 | 403,600 | △ 253,600 | 祝い金。名簿代金。別紙参照 |
| 寄付金 | 3,580,000 | 510,000 | 3,070,000 | 別紙参照。 |
| 前年度より繰越 | 34,651,068 | 34,651,068 | 0 | |
| 合 計 | 43,591,068 | 39,785,802 | 3,805,266 | |

支出の部

(単位：円)

| 勘定科目 | 12年度予算 | 12年度決算 | 比較増減 | 備 考 |
|--------|------------|------------|-------------|-----------------|
| 人 件 費 | 100,000 | 83,600 | 16,400 | アルバイト代等。 |
| 總會諸費 | 500,000 | 339,394 | 160,606 | 講師御礼。テープ起稿等 |
| 法要諸費 | 500,000 | 369,092 | 130,908 | 開眼法要諸費用。別紙参照 |
| 懇親会費 | 700,000 | 661,425 | 38,575 | KKリーガールoyal支払分。 |
| 消耗品費 | 130,000 | 83,359 | 46,641 | 事務用品等。 |
| 印刷製本費 | 1,500,000 | 1,344,393 | 155,607 | 会報2回分。名簿追録費用 |
| 通 信 費 | 550,000 | 177,556 | 372,444 | 会報2回分。 |
| 会議費 | 300,000 | 129,887 | 170,113 | 幹事会・役員会食事代等。 |
| 慶 弔 費 | 300,000 | 233,174 | 66,826 | 電報。支部総会祝。卒業生御祝い |
| 旅費交通費 | 400,000 | 120,260 | 279,740 | 幹事会・支部総会への交通費等。 |
| 雑 費 | 30,000 | 11,670 | 18,330 | 振替払出。銀行送金手数料。 |
| 寄付金 | 13,000,000 | 14,624,558 | △ 1,624,558 | 別紙参照 |
| 次年度へ繰越 | 25,581,068 | 21,607,434 | 3,973,634 | |
| 合 計 | 43,591,068 | 39,785,802 | 3,805,266 | |

種智院大学同窓会平成12年度事業報告

- (1) 事務局会議
日 時：平成12年 5月24日(水)午後 5時45分
場 所：種智院大学 第3会議室
- (2) 幹事会
日 時：平成12年 5月29日(月)午前11時30分
場 所：福幸(ルネッサンスビル 3階)
- (3) 講堂本尊開眼法要
日 時：平成12年 6月17日(土)午前11時
場 所：種智院大学講堂
導 師：真言宗大覚寺派管長・大本山大覚寺門跡・真言宗京都学園理事長片山宥雄(昭19)
協導師：中山寺元長老・種智院大学学長 今井圓明(昭24)
中山寺元長老・種智院大学同窓会会長 池田登輝(昭28)
職 衆：岩崎豊海(一騰・平成元)、佐伯俊源(二騰・教員)、小西徹定(散華・学生)、田立智暁(対揚・学生)、片山佑慶(学生)、岩田隆海(学生)、吉田周(学生)、今井宥史(後讚・学生)、野口貴弘(学生)、加瀬堯啓(奠供・学生)、石森俊明(学生)、福澤隆雅(学生)、星 孝芳(学生)
会奉行：児玉義隆(教員)種智院大学同窓会事務局長
承 仕：遠藤大純(学生)、宇喜多良充(学生)、市塚明人(学生)、大串泰山(学生)
司 会：吉田大治(昭和60)
- (4) 総会
日 時：平成12年 6月17日(土)午後 1時30分
会 場：種智院大学 講義室204
- (5) 記念講演
日 時：平成12年 6月17日(土)午後 2時30分
会 場：種智院大学 講義室204
記念講演：「仏像の伝承と再生」
講 師 京都市立芸術大学名誉教授 田村隆照師
- (6) 懇親会
日 時：平成12年 6月17日(土)午後 5時
会 場：リーガロイヤルホテル京都 2階 貴船の間
- (7) 会報の発行
特別号 平成12年 7月25日
- (8) 卒業生への記念品贈呈
平成13年 3月15日(月)
記念品：腕輪念珠・同窓会会員名簿
- (9) 各支部活動等
(ア) 兵庫支部
日 時：平成12年 4月 9日(日)～ 4月10日(月)
場 所：ホテルニュー淡路
参加者：14名(日帰5名・宿泊9名)
(イ) 大阪支部
日 時：平成12年 5月26日(金)午後 7時
場 所：すたんど割烹 日本
参加者：18名 本部より池田会長・宇垣職員

別表2

種智院大学同窓会 平成13年度予算書

収入の部

(単位：円)

| 勘定科目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 比較増減 | 備考 |
|---------|------------|------------|--------------|----------------------|
| 会費 | 3,610,000 | 4,010,000 | △ 400,000 | 終身180名。年会費5名。 |
| 懇親会費 | 320,000 | 700,000 | △ 380,000 | @10,000×30。@5,000×4。 |
| 受取利息配当金 | 400,000 | 500,000 | △ 100,000 | 定期・普通預金。郵便貯金。 |
| 雑収入金 | 100,000 | 150,000 | △ 50,000 | 総会・懇親会祝い金。名簿代金等。 |
| 寄付金 | 0 | 3,580,000 | △ 3,580,000 | |
| 前年度より繰越 | 21,607,434 | 34,651,068 | △ 13,043,634 | |
| 合計 | 26,037,434 | 43,591,068 | △ 17,553,634 | |

支出の部

(単位：円)

| 勘定科目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 比較増減 | 備考 |
|--------|------------|------------|--------------|----------------------|
| 人件費 | 100,000 | 100,000 | 0 | アルバイト代等。 |
| 総会諸費 | 400,000 | 500,000 | △ 100,000 | 総会諸費用。講演料 |
| 法要諸費 | 2,694,558 | 500,000 | 2,194,558 | 本堂の本尊及び仏具等寄付金処理の持出分 |
| 懇親会費 | 320,000 | 700,000 | △ 380,000 | @10,000×30。@5,000×4。 |
| 消耗品費 | 100,000 | 130,000 | △ 30,000 | 事務用品。コピー代 |
| 印刷製本費 | 1,400,000 | 1,500,000 | △ 100,000 | 会報2回分。 |
| 通信費 | 250,000 | 550,000 | △ 300,000 | 会報発送費。案内状送付切手 |
| 会議費 | 200,000 | 300,000 | △ 100,000 | 幹事会・役員会等。 |
| 慶弔費 | 250,000 | 300,000 | △ 50,000 | 電報。支部総会御祝い金。 |
| 旅費交通費 | 200,000 | 400,000 | △ 200,000 | 支部総会への交通費等。 |
| 雑費 | 20,000 | 30,000 | △ 10,000 | 振替払出。銀行送金手数料。 |
| 寄付金 | 0 | 13,000,000 | △ 13,000,000 | |
| 次年度へ繰越 | 20,102,876 | 25,581,068 | △ 5,478,192 | |
| 合計 | 26,037,434 | 43,591,068 | △ 17,553,634 | |

種智院大学同窓会平成13年度事業計画

- (1) 臨時役員会
日時：平成13年6月2日(土)午後4時
場所：ホテルグランヴィア大阪
- (2) 事務局会議
日時：平成13年6月7日(木)午後5時45分
場所：種智院大学 第3会議室
- (3) 幹事会
日時：平成13年6月30日(土)午前11時
場所：種智院大学 第1会議室
- (4) 総会並びに物故者慰霊法要
日時：平成13年6月30日(土)午後2時
会場：種智院大学 講義室401
- (5) 記念講演
日時：平成13年6月30日(土)午後3時
会場：種智院大学 講義室204
演題：「日本仏教と儒教」
講師：大阪大学名誉教授 加地伸行氏
- (6) 懇親会
日時：平成13年6月30日(土)午後5時30分
会場：ホテル日航プリンセス京都 カトレアの間
- (7) 名簿委員会
日時：平成13年秋ごろ
会場：種智院大学会議室(詳細未定)
- (8) 会報の発行
第27号 平成14年1月下旬頃(予定)
- (9) 卒業生への記念品贈呈
平成14年3月16日(土)
記念品：腕輪念珠・同窓会会員名簿
- (10) 各支部活動等
日時：平成13年5月29日(火)午後7時
場所：すたんど割烹 日本
参加者：17名 本部より今井講師・宇垣職員

参加者一覧

| | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 水谷 修夫(昭17) | 佐伯 龍幸(昭24) | 北村 太道(昭33) | 佐野 剛空(昭60) | 小川 永(平11) |
| 長谷 清彦(昭18) | 石坪 昭真(昭25) | 土屋 博秀(昭37) | 吉田 大治(昭61) | 小保方敬子(平12) |
| 手塚 利貞(昭23) | 生駒 研性(昭25) | 菅 智潤(昭47) | 山下 高仙(昭62) | 村上 晋弘(平12) |
| 蓮沼 雅春(昭23) | 田井 秀成(昭28) | 都筑 大乘(昭47) | 湯通堂法姫(平8) | 大西 正倫(平13) |
| 江坂 宗純(昭23) | 池田 榮輝(昭28) | 村岸 定光(昭48) | 川原 一修(平9) | 稲塚 信海(準) |
| 加藤 義昇(昭23) | 足立 有教(昭28) | 宮崎 快克(昭56) | 清水 明宏(平10) | 橋本 哲夫(賛助) |
| 法本 弘文(昭23) | 宮本 成雄(昭28) | 北尾 隆心(昭56) | 増田 恵子(平10) | 今井 浄圓(賛助) |
| 松野 栄隆(昭23) | 北村 謙臣(昭30) | 玉山 順彦(昭56) | 奥田 雅之(平10) | 佐伯 俊源(賛助) |
| 森 見章(昭23) | 福島 尊光(昭30) | 宇垣 泰明(昭57) | 河根 智江(平10) | 古川 洋一(賛助) |
| 今井 圓明(昭24) | 高松 龍暉(昭33) | 高田 順仁(昭58) | 飯田 真也(平10) | |

別表3

種智院大学講堂の本尊及び仏具等寄付金勧募報告

平成10年12月2日、臨時幹事会を幹事会員有志で開き、また平成11年1月22日、特別委員会を開催し、下記のとおり勧募趣意書・勧募要項を発表し、同窓会員・関係各位に広く呼びかけて勧募活動に入った。

| | |
|------|--|
| 趣意書 | <p>母校種智院大学は、真言宗祖弘法大師の綜藝種智院式を建学の精神とし、今日まで幾多の優秀な人材を輩出し、社会の要請に応じて参りました。</p> <p>今般、京都市伏見区向島の地に新たな校地を求め、仏教福祉学科を増設し、新キャンパスが開設されることになりました。</p> <p>わが同窓会は、平成10年12月の臨時幹事会・1月の特別委員会におきまして、自主的に大学に全面的に協力して行くことになりました。</p> <p>同窓会会員の皆様には母校の状況を理解いただき、伝統ある種智院大学がより継続発展すべく、絶大なるご協賛を賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">平成11年3月吉日 種智院大学同窓会会長 池田登輝</p> |
| 目標額 | <p>種智院大学向島キャンパス講堂本尊 大日如来（木像木地仕上一部彩色） 一軀および仏具・荘厳具等 総額 20,000,000円</p> |
| 送金方法 | 一口 10,000円（三口以上希望） |

平成13年12月1日現在の入金状況は下記のとおりであり、平成13年6月の2日の役員会、6月30日の幹事会・総会で最終報告を行った結果、上記の勧募活動を終了することが承認されたので「種智院大学同窓会 勧募集計表」と「勧募協力者一覧表」を掲載する。

種智院大学同窓会 勧募集計表

平成13年12月1日現在

| 勧募金額 | 件数 | 入金額 |
|-----------|-----|------------|
| 1,000,000 | 3 | 3,000,000 |
| 700,000 | 1 | 700,000 |
| 500,000 | 3 | 1,500,000 |
| 300,000 | 7 | 2,100,000 |
| 200,000 | 6 | 1,200,000 |
| 100,000 | 40 | 4,000,000 |
| 60,000 | 3 | 180,000 |
| 50,000 | 30 | 1,500,000 |
| 40,000 | 2 | 80,000 |
| 30,000 | 133 | 3,990,000 |
| 20,000 | 15 | 300,000 |
| 10,000 | 43 | 430,000 |
| 合計 | 286 | 18,980,000 |

勸募協力者一覽表

卒年順

| | | | | |
|---------------|---------------|--------------|-------------|-------------|
| 上井 寛圓 (昭7) | 北森博三郎 (昭20) | 荒谷 恵乗 (昭25) | 三池 崇裕 (昭40) | 日下部快純 (昭58) |
| 亀田隆基(故)(昭7) | 童銅 曠純 (昭20) | 生駒 研性 (昭25) | 藤井 向妙 (昭41) | 吉田 正裕 (昭58) |
| 竹中弘明(故)(昭7) | 番場 實亮 (昭20) | 石坪 昭真 (昭25) | 阿刀 鶴英 (昭42) | 高取 顕勝 (昭59) |
| 民岡 哲雄 (昭9) | 江坂 宗純 (昭22) | 原 慶喜 (昭25) | 大門 正道 (昭42) | 市橋 朋幸 (昭59) |
| 岩城 秀雄 (昭10) | 新見 智章 (昭22) | 杉 慎吾 (昭25) | 田畑 祐弘 (昭42) | 井上 俊章 (昭59) |
| 城光寺教進 (昭10) | 川村 俊朝 (昭22) | 豊田 修賢 (昭25) | 清水 淑子 (昭43) | 津守るり子 (昭59) |
| 鈴木泰圓(故)(昭12) | 奥寺 知光 (昭22) | 吉井 照典 (昭25) | 有井 良随 (昭45) | 児玉 和幸 (昭59) |
| 長谷川寛環(故)(昭12) | 木村 大廣 (昭22) | 足立 有教 (昭28) | 石原 秀一 (昭45) | 森田 俊尚 (昭59) |
| 岸越 秀慈 (昭13) | 村岡 秀全 (昭22) | 池田 登輝 (昭28) | 松尾 初子 (昭45) | 佐野 剛空 (昭60) |
| 高橋 天瑞 (昭13) | 天野 晃玄 (昭23) | 加門 得勇 (昭28) | 嶋 裕海 (昭45) | 武村 尚史 (昭60) |
| 多田隆信(故)(昭13) | 和泉 恵弘 (昭23) | 児玉 玄裕 (昭28) | 森 孝明 (昭45) | 森田 恭生 (昭60) |
| 天谷 覺法 (昭14) | 井上 春成 (昭23) | 新宅 正 (昭28) | 秋山 行徳 (昭46) | 吉武 正元 (昭60) |
| 降魔 寛仁 (昭14) | 大黒 宜俊 (昭23) | 高見 寛瑞 (昭28) | 黒坂 堯栄 (昭46) | 吉田 大治 (昭60) |
| 清水 真澄 (昭14) | 加藤 義昭 (昭23) | 中西 隆海 (昭28) | 耕野 一仁 (昭46) | 見城 雅俊 (昭61) |
| 新宅教明(故)(昭14) | 河邊 延應 (昭23) | 宮本 成雄 (昭28) | 後藤 啓之 (昭46) | 高橋 悟道 (昭62) |
| 民岡 秀海 (昭14) | 木村 弘 (昭23) | 伊藤 照南 (昭29) | 大林 教善 (昭47) | 山下 高仙 (昭62) |
| 宮本 真光 (昭14) | 桐村 覚堂 (昭23) | 小笹 典之 (昭29) | 綱山 慧光 (昭47) | 矢代 豊一 (昭63) |
| 森 智堅(故)(昭14) | 手塚 利貞 (昭23) | 遠山 本良 (昭29) | 孤溪 正信 (昭47) | 渡邊 恭章 (昭63) |
| 天野 雪城 (昭15) | 寺河 俊禎 (昭23) | 山本 静澄 (昭29) | 菅 智潤 (昭47) | 白石真理子 (平元) |
| 石原 高喜 (昭15) | 内藤 信道 (昭23) | 北村 謙臣 (昭30) | 竹内 清純 (昭47) | 岡野 良範 (平元) |
| 藤井 真禪 (昭15) | 西端 良諦 (昭23) | 住川 行範 (昭30) | 都筑 大乗 (昭47) | 阪口 典子 (平元) |
| 松本 龍雄 (昭15) | 法本 弘文 (昭23) | 藤本 浄海 (昭30) | 真井 隆史 (昭47) | 安田 芳久 (平元) |
| 井上 紀生 (昭16) | 蓮沼 雅春 (昭23) | 若田 真英 (昭30) | 中山 大定 (昭48) | 小西 規方 (平2) |
| 岩崎 増修 (昭16) | 本田 隆保 (昭23) | 本郷 晋海 (昭31) | 西山 廣文 (昭48) | 新 孝之 (平2) |
| 蔵本 亮辨 (昭16) | 松田 亮如 (昭23) | 三ツ 芳順 (昭31) | 松山 隆典 (昭48) | 中塚 浩子 (平2) |
| 佐藤眞榮(故)(昭16) | 松葉 久 (昭23) | 田居 龍空 (昭32) | 村岸 定光 (昭48) | 宮野 隆聖 (平2) |
| 東野学明(故)(昭16) | 室寺節応(故)(昭23) | 高松 龍呷 (昭32) | 藤原 豊善 (昭49) | 広橋 茂彦 (平3) |
| 高志慈観(故)(昭16) | 森 見章 (昭23) | 棟広照文(故)(昭32) | 鈴木 宏教 (昭50) | 多田 真祥 (平4) |
| 伊藤 利雄 (昭17) | 森田 義寛 (昭23) | 山内 一秀 (昭32) | 池田 光輝 (昭51) | 有木 義人 (平5) |
| 照本祥雲(故)(昭17) | 吉岡 宏任 (昭23) | 蛸田 真慧 (昭33) | 小倉 秀円 (昭51) | 中江 康明 (平5) |
| 畠田禅峰(故)(昭17) | 加藤 亮匡 (昭24) | 筑波 常暹 (昭33) | 北村 祐道 (昭51) | 林 俊乗 (平5) |
| 水谷 修夫 (昭17) | 川崎 龍性 (昭24) | 祝 宏友 (昭35) | 進住 信慶 (昭52) | 赤塚 祐道 (平6) |
| 安東 法秀 (昭18) | 神田 諦雲 (昭24) | 藤井 昭禪 (昭35) | 輪山 行弘 (昭52) | 植野 剛司 (平7) |
| 金田修二郎 (昭18) | 小笹 憲雅 (昭24) | 密門 光範 (昭35) | 麻生 照胤 (昭53) | 滝山 尚 (平7) |
| 長谷 清彦 (昭18) | 佐伯 龍幸 (昭24) | 北村 太道 (昭36) | 小林 哲成 (昭53) | 和気 正真 (平7) |
| 森田 龍雄 (昭18) | 新野 正憲 (昭24) | 後藤 公己 (昭36) | 岡田 幸恵 (昭54) | 赤塚 法子 (平8) |
| 伊藤 正幸 (昭19) | 神野 龍幸 (昭24) | 松村 実秀 (昭36) | 田中 栄心 (昭54) | 磯 定憲 (平8) |
| 伊東 良巖 (昭19) | 喜多村龍風(故)(昭24) | 小西 英安 (昭37) | 玉山 順彦 (昭55) | 沖田 憲信 (平8) |
| 齊藤 亮純 (昭19) | 丹生 裕幸 (昭24) | 土屋 博秀 (昭37) | 長谷 法寿 (昭55) | 高橋 弘道 (平8) |
| 高吉 清順 (昭19) | 大同 徳和 (昭24) | 森 光栄 (昭37) | 北尾 隆心 (昭56) | 野末 学美 (平8) |
| 萩野 泰舜 (昭19) | 東田 教範 (昭24) | 岡崎 厚道 (昭38) | 宮崎 快光 (昭56) | 原田 暢広 (平8) |
| 潮 恵秀 (昭19) | 八木 龍生 (昭24) | 玉久 圭澄 (昭38) | 宇垣 泰明 (昭57) | 湯通堂法姫 (平8) |
| 上品 新勝 (昭19) | 宮岡 修一 (昭24) | 山本純一(故)(昭38) | 沢 親徳 (昭57) | 秋山 英之 (平9) |
| 片山 宥雄 (昭19) | 山田 達圓 (昭24) | 赤崎 定道 (昭39) | 高松 弘龍 (昭57) | 宇垣摩結子 (平9) |
| 岩橋政寛(故)(昭20) | 今井 圓明 (昭24) | 神先 賢雄 (昭40) | 渡辺 孝蔵 (昭57) | 小西 啓之 (平9) |

| | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 笹尾 正浩 (平9) | 白石 祐佳 (平10) | 佐藤 尚哉 (平11) | 須方 智澄 (準) | 神保 全孝 (賛助) |
| 上谷 力王 (平9) | 高見 弥生 (平10) | 清水 康範 (平11) | 高畑 龍憲 (準) | 田中 真瑠 (賛助) |
| 豊岡 寛子 (平9) | 竹花 智素 (平10) | 高橋 周佐 (平11) | 杉岳 覚英 (準) | 鳥越 正道 (賛助) |
| 長尾 和人 (平9) | 田中 密敬 (平10) | 竹内 秀幸 (平11) | 木藤 孝治 (準) | 西崎 照明 (賛助) |
| 長谷川恵淳 (平9) | 白水 龍 (平10) | 豊田 篤史 (平11) | 矢城 義宥 (準) | 野口 圭也 (賛助) |
| 藤本 武良 (平9) | 道成 亮範 (平10) | 中島 康子 (平11) | 新田 忠孝 (準) | 能勢 真乗 (賛助) |
| 三浦佐衣子 (平9) | 山崎 友之 (平10) | 新賀 康徳 (平11) | 安田 頼盛 (準) | 前田 仁 (賛助) |
| 赤松 布絵 (平10) | 田村 公二 (平11) | 野口 竜一 (平11) | 稲塚 信海 (準) | 横山 繁久 (賛助) |
| 岡田 祥子 (平10) | 石本 隆芳 (平11) | 廣田真紀子 (平11) | 高木 増堅 (準) | 鷺尾 隆輝 (賛助) |
| 黒岩 桜児 (平10) | 小坂田隆央 (平11) | 宮本 良儀 (平11) | 田井 秀成 (準) | 田村 隆照 |
| 柳原 正道 (平10) | 兼平 達己 (平11) | 和田 理 (平11) | 今井 淨圓 (準) | (京都芸大名誉教授) |
| 烏田 大観 (平10) | 鬼頭 宗隆 (平11) | 岡田 融信 (平11) | 喜田 光寛 (賛助) | |
| 清水 明宏 (平10) | 園分 大輔 (平11) | 藤田 俊教 (準) | 佐々木龍宝 (賛助) | |

支部だより

大阪支部総会

平成13年5月29日(火)大阪市難波の「すたんど割烹 日本」において、平成13年度大阪支部総会が開催された。

当日は、15名の出席者があり、事務局からは今井淨圓講師と宇垣泰明職員が出席した。

最初に佐野支部長より挨拶があり、続いて来賓挨拶で本部事務局の方から大学の新入生の入学状況と、平成11年度来進められていた特別勧募の結果報告がなされた。また、奈良支部からの来賓村岸定光師が挨拶があり、引き続き総会の協議に入った。平成12年度事業報告・決算報告が会計よりなされ、異議なく了承された。平成13年度事業計画、予算案は、数字の誤謬を訂正のうえ了承された。事業計画として、新たに大阪支部独自に何か小冊子等を支部の会員に配布する等の事業を企画することになった。

さらに新役員改選の協議に入り、佐野支部長のもと新役員が選出された。以上、滞りなく審議を終了し、懇親会に移った。

席上、新会員の自己紹介など和気藹々のうちに時間となり、来年もまた会おうと約束し解散した。

会 員

片山宥雄師大覚寺門跡再任

去る平成13年10月23日、大本山大覚寺では、片山門跡(昭和19年)の任務満了に伴う公認門跡を決定する選定宗会を開催したが、無投票で片山門跡の再任が決定した。任期は平成13月1日より4年。

川村俊朝師泉涌寺長老再任

総本山泉涌寺では去る平成13年11月9日、川村長老(昭和22年)が任期満了を迎えるにあたり、臨時末寺代表会が開催された。次期長老候補に現長老の川村俊朝大僧正他2師が推挙されたが、翌10日付で他の候補者が辞退したため、川村長老の無投票による再任が決定し、12月1日の選挙会で正式決定した。任期は5年。

東田教範師大僧正昇補

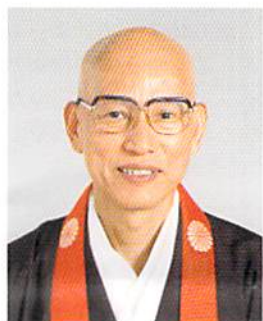
山口県宇部市法興寺住職の東田教範師(昭和24)は平成12年度第65回東寺真言宗臨時宗会で大僧正への昇補が異議なく承認された。同宗では昭和生まれで初めて大僧正になった。

東田師の昇補を祝い、法興寺檀家総代が中心となり、「大僧正昇補慶祝会」が平成12年7月30日に国際ホテル宇部で開かれた。京都専門学校同級生の今井圓明学長をはじめ、壇信徒や同寺有縁の関係者ら150人が出席した。

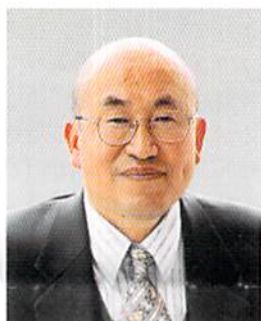
東田住職は昭和3年12月9日、大阪生まれ。昭和24年、京都専門学校卒業、59年東寺真言宗宗議会議員に選ばれ、以後4期つとめる。その間、平成2年副議長、4年に議長(2期)にそれぞれ選任された。4年9月、権大僧正。7年、後七日御修法の供僧出仕。同年、東寺創建千二百年慶讃大法要実行委員長。9年母校同窓会副会長など、宗内外の重役を歴任。

大学だより

今井学長退任・新学長に頼富教授



今井学長



頼富教授

平成13年12月14日(金)に開催された真言宗京都学園平成13年度第3回理事会・評議員会において、現学長の今井圓明師が一身上の都合により、今年度末をもって辞意を表明した。これを受けて理事会で新学長を選考した結果、元本学教授で国際日本文化研究センター教授の頼富本宏師を選任した。

今井学長は、昭和4年5月21日兵庫県生まれ。昭和24年3月京都専門学校卒業後、龍谷大学に進み27年3月卒業。その後、宝塚市に勤務し、総務部長の時には市政の改革の一翼を担う。その後、大本山中山寺諸役を歴任し、平成2年中山寺長老。平成4年4月種智院大学学長に就任し、大学の改革に手腕を発揮。平成5年密教文化コース設置。同年7月密教資料研究所設置。同研究所の初事業として「長谷資秀全集」の刊行を推進し、同9年2月17日長谷資秀師五十回忌法要の導師を勤め、同日「長谷資秀全集」出版記念祝賀会を開催。同10年12月仏教福祉学科設置認可。同11年4月には伏見区向島に新キャンパスを建設、大学を移転し定員を1学年160名とした。

今井学長は、新義各派とも連携を強め、学内では豊山・智山の教学史・法儀を開講科目に開設するなど全真言宗大学の方針を強く打ち出した。その成果は、三派合同による降誕会・常楽会法要によくあらわされ、各派がたがいに切磋琢磨し、それぞれの特徴を出しあい、他では見ることでできない、独特の法要ができるようになっていく。また、飾らない人柄から、学生たちともよく話し合い、人気も高い。

このように、大きな功績を築いた今井学長の退任には、大学の内外からせめて任期満了までとの声も多かったが、本人の希望で決定した。

新学長の頼富本宏師は、昭和20年香川県出身。昭

和48年3月京都大学大学院博士課程単位修得により退学。同年から本学の専任講師として教鞭を取り、昭和63年京都大学で文学博士学位取得。平成4年4月仏教学部長。同10年4月より文部省(当時)共同利用機関国際日本文化研究センター教授、種智院大学客員教授。マンダラ研究の第一人者として知られ、主な編著に「中国密教の研究」「密教仏の研究」「曼荼羅鑑賞の基礎知識」「シリーズ密教 全4巻」他多数

第53回入学宣誓式

平成13年4月10日、種智院大学第53回入学宣誓式が挙行された。当日は午前10時より、講堂で開式の辞、三婦依文、四弘誓願、御法楽の後、野口圭也仏教学科長と宮崎隆太郎仏教福祉学科長が新入生179名の氏名を呼び上げ、今井圓明学長が全員の入学を許可する旨を宣言した。続いて今井学長が、「良き友を得、何かを学ぶ明確な志を胸に刻んでいただきたい。《少年老い易く学なり難し》と言われていた。無為に日々を送り何も得ないまま過ごしてしまうことは誠に残念であり、これからの人生に悔いを残すことのない学園生活を過ごしてください」と告辞を述べ、片山宥雄大本山大覚寺門跡・真言宗京都学園理事長の祝辞、祝電披露に続き、在学生代表庄司彦彦学生自治会長の歓迎の辞、新入生代表浅川里絵さんの宣誓が行われ、種智院大学学生歌斉唱、御宝号、教員紹介、閉式の辞をもって終了した。なお、同窓会関係の来賓は、片山宥雄大覚寺門跡、高松龍暉副会長等であった。

第49回卒業証書・学位記授与式

平成13年3月15日第49回卒業証書・学位記授与式を挙行した。当日は午前10時より、講堂に於いて池田和彦教務部長の司会で開式の辞、御法楽に続き、今井圓明学長より、卒業生98名(仏教学コース4名、密教学コース20名、密教文化コース15名、仏教福祉学コース59名)に卒業証書・学位記が授与され、続いて学業賞、論文賞、六大新報社賞、高野山時報社賞が授与された。次に今井学長が、「社会に出ていく皆さんに『菩薩の心』『良き友』そして宗祖大師の心・思想である、『本学の建学の精神』の三点の言葉を贈りたい。人間として生きる道を忘れず、世の中のために尽くして頂きたい」と告辞の後、来賓の紹介、後藤善猛洛南高校・同附属中学校長が「弘法大師の精神を自分の支えにして、人類社会全般の幸福に貢献できる一員となって頂きたい」と祝辞、祝電

披露、在学生代表田代弘尚学生自治会長の送辞、卒業生代表宮川齡子さんの答辞、御宝号、閉式の時を持って終了した。なお卒業生に種智院大学同窓会より、腕念珠と同窓会名簿が贈られた。なお、同窓会関係としては、高松龍暉副会長、川崎龍性監事（学園評議員）、等が出席した。

学業賞（鼎龍暉賞）

宮川齡子、吉田周、飯田友子、土肥早苗

論文賞（信貴山千手院賞）

宮川齡子、吉田周、飯田友子、近藤朋道、吉田椋善、佐藤 忠、横川佐知子、古賀ひとみ、小久保学、五十嵐睦、福村左枝子

六大新報社賞

中西善裕

高野山出版社賞

竹下幸子

井上亮淳教授退任

永年母校で、声明学の指導にたずさわってこられた井上亮淳教授（昭33）は、平成13年3月末日をもって種智院大学を定年で退任された。これに伴い、井上教授の送別会が3月28日に開催され、当日は、教え子や関係者が集い、思い出を語り合った。

社会福祉士現役合格

平成12年度社会福祉士国家試験で、仏教福祉コース4回生（当時）の生越俊博君と福村左枝子さんが現役で合格。また、同時に卒業生の勝木大輔君（平11）も合格されました。おめでとうございます。

人事異動

平成13年度より、新たに下記各師（氏）の人事異動がありました。

昇任・就職

教務部長・教授 小澤 勲（就任） 4月1日付

宗教部長・教授 児玉義隆（昇任） 4月1日付

助教授 左右田昌幸（昇任）、苫米地誠一（就任）

4月1日付

仏教福祉学科助手 安藤直子（就任） 4月1日付

法人事務局次長 井上真一（就任） 1月1日付

退職

教授 井上亮淳、所 久雄

講師 平尾 桂

仏教福祉学科助手 芦田麗子

入試課長心得 清水幸次郎

種智院大学オープンキャンパス

平成13年、8月1～2日（火・水）および9月15日（土、祝）の三日間、受験生対象のオープンキャンパスが開催された。8月の二日間は京都市内の大学が共同して開催したものである。当日は午前10時より午後4時まで、介護・仏画・梵字・インターネット各体験コーナーや入学から学生生活まで種々の疑問に答える総合相談コーナーが設けられた。冷たいジュースや菓子も用意されており、家族連れや友達同志で訪れる高校生たちでにぎわった。

受験説明では、奨学金給付生選考を兼ねた入試を行い、成績によって初年度の授業料の全額・半額・入学金相当額等を給付することなど、種智院大学独自の知って得する情報が一杯であった。

また、各イベントのコーナーでは、介護のことについて担当教員に熱心に質問したり、普段日常的には目にすることのない仏画や梵字などについて、興味深く担当者から話を聞く姿が見受けられた。

平成13年度学園得度

平成13年7月7日（日）午前9時30分より講義室401において、今井圓明学長戒師のもと、宗教部職員職衆により挙行された。式は滞りなくす進められ、10時30分戒師より訓戒を賜り、受者代表の御礼の言葉で得度式は無事成満した。11時より正門前で戒師、受者、職衆、参列者一同で撮影。午後1時から京都の料亭「花斗（はなのし）」に席を移して祝賀が催された。席上、戒師を勤められた今井学長より受者に対して挨拶があり、職衆の宗教部の各先生方より祝辞をいただき、受者はそれぞれの得度の抱負を語った。また、記念品として、学長直筆の言葉の書かれた朱扇が配られ、和やかなうちにお開きとなった。

【受者氏名：（ ）内は僧名と師僧】

伊藤昌司（誠昌・山口文章）、石原澄明（澄明・石原秀一）、沼賀飛鳥（円優・今井圓明）、藤原昭二（昭善・藤原豊善）、南 宗法（宗法・浅野順理）

学園加行無魔成満

平成13年9月13日、第6期学園加行で行者5名が無魔成満した。前期は2月5日に入山し2月9日十八道加行開白。4月4日、金剛界正行結願。後期は8月6日に入山、9日に胎藏界加行を開白し、9月13日護摩正行を結願。大本山大覚寺を道場に、片山宥雄門跡を大阿闍梨に仰いで開催された。ことに後期は、記録的な猛暑だったが、行者たちは互いに協

方しながらこの日を迎えることができた。行者の一人は「一生に一度しかないこの貴重な経験を生かし、頑張りたい」と述べていた。

なお、成満者は以下の5名

犬塚弘教（3回生） 杉本崇瑞（3回生） 黒木宥
絃（2回生） 桑田幸龍（1回生） 東田和仁（平
12卒）

北村教授密教学芸賞受賞

北村太道教授は、多年にわたる研究業績が評価され、平成13年度の密教学芸賞を受賞された。表彰式は10月19日午前10時より豊山派宗務所で、密教学会学術大会の開会式席上で開催された。



北村太道教授

この慶事を祝い、種智院大学密教学会では、12月1日(土)午後6時からホテル京阪京都の東天紅で受賞祝賀会が催された。

今井学長の「北村先生のチベット密教についての研究が評価されたことは誠に慶ばしいことである。今後とも先生にはご精進を願うとともに、後継者を育成願いたい」旨の祝辞の後、北村教授に記念品が贈呈され、「過分なお褒めを頂き恐縮している。これを機会に一層の研究を続けたい」と北村教授から謝辞が述べられた。その後、吉田学部長の発声で乾杯、懇談に入り、和気藹々の内に各専任の先生方から北村教授に讃辞が贈られ、最後に野口仏教学科長の挨拶でお開きとなった。

○北村太道教授略歴

金剛院名誉住職。昭和36年種智院大学卒業。44年種智院大学講師、助教授を経て、56年より教授。真言宗京都学園理事、平成10年仏教学部長、平成12年密教資料研究所所長を任歴。一貫してインド・チベット密教の研究に従事し、「チベット和訳・大日経略釈」をはじめ、「金剛頂経」や後期密教に関する研究成果は、高い評価を得ている。



中村教授の仏画展示・公開

このほど、中村幸真先生は、奈良県明日香村の岡寺に再建された三重塔の初層の仏画を制作された。

岡寺は、現在では長谷寺の末寺として真言宗豊山派に属しており、西国三十三カ所の七番札所での名刹として知られている。この三重塔は、室町時代に台風で倒壊して以来、再建が歴代住職の悲願となっていた。先年、機縁熟して塔が再建されたのに伴い、奈良国立博物館館長濱田隆・同前学芸員阪田宗彦両先生の監修のもと、堂内の荘厳を中村先生に依頼されたものである。

この堂内壁画の完成を記念して、平成13年9月18日(日)から10月8日(月・祝)までの間、奈良国立博物館の「岡寺の歴史と美術」の特別陳列の中で仏後壁の四印会図四菩薩と、四方扉八方天の一部が展示された。



〈仏後壁・正面〉四印会四菩薩図

また、荘厳画がすべて納められた三重塔の初層が、11月11日より18日(日)まで特別に公開された。

堂内の本尊大日如来像の後壁には、正面に四印会図四菩薩図・背面には龍猛菩薩が南天の鉄塔より金剛頂経を感得した故事をあらわした南天鉄塔図が描かれている。四方の扉には、東方よりそれぞれ伊舎那天から毘沙門天までの八方天が、各四隅の塔壁には西北壁から右まわりに、龍猛菩薩から弘法大師にいたる伝持八祖が著され、八祖の下には四季の花鳥図が美しく描かれており、参拝者たちは鮮烈な密教芸術の迫力に感激していた。

種智院大学密教学会大会

(卒業生の仏画など展示)

平成13年12月1日(土)午前10時より種智院大学密教学会大会が、母校を会場に開催された。

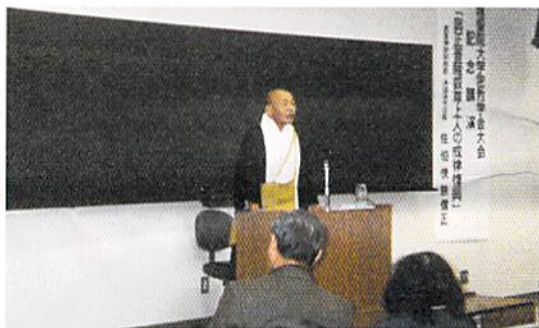
当日は、午前10時から講堂で卒業生を中心としたの密教画展とデジタルアーカイブ・システムの展示および講演が行われた。

密教画の展示は、中村教授の指導による密教画(旧密教美術)を受講していた卒業生たちが、在学中または卒業後に制作した仏画約30点を展示した。デジタルアーカイブ・システムの講演は、午前11時から講義室204で、日立製作所開発センター長・国際日本文化研究センター客員教授の神内俊郎氏によりコンピュータによる画像処理の最新技術が紹介され、絵画のデジタル処理による記録・保存・修復(加工)について、様々な事例をあげて説明された。

午後1時からは、同204で研究発表があり、来場者からの質疑に発表者が応答する場面も見られた。

引き続き、公開講座を兼ねた真言律宗宗務総長佐伯快勝僧正による、「興正菩薩寂尊上人の戒律復興」の記念講演が行われた。講演は午後3時15分から1時間の予定であったが、大変熱がこめられ、30分近く延長して行われた。

当日は、多数の来場者で賑わい、ことに密教画展とデジタルアーカイブの展示は、人が絶えることなく、非常に好評だった。



密教学会大会記念講演

学生だより

平成13年度降誕会・常楽会

降誕会・常楽会実行委員会

降誕会

今年の降誕会は、6月15日(金)におこなわれました。前の夜から天気が崩れたために、恒例となった花御興行道が中止になったのは残念でした。

法要は、各派とも一所懸命練習し、とくに1回生は高校生の感覚がまったく変わってしまったような環境の中でよく頑張り、全体を盛り上げてくれました。

法要の後は、いつもだったら記念講演をしていたのですが、仏教学科と仏教福祉学科の2学科になり、なかなか宗教行事に参加してくれない学生も増えてきたので、今年は親睦球技会という新しい企画を考えてみました。各部・サークルや、真言宗各派、教職員チーム対抗で好評でした。ただ、やはり福祉の学生にもう少し参加してもらい、チーム数が増やせたら良かったのですが。

常楽会

常楽会は、四座講式を順番にお唱えしており、今年も遺跡講でした。4回生が卒業論文のためにあまり参加してもらえず、降誕会に比べて十数人減ってしまいました。それでも、配役の頭人をお勤めいただいたり、学生時代最後の法要だから当日だけでも参加して下さった方もいて、たいへん感謝してお

ります。声明は、降誕会に比べると練習の成果も出てきたように思います。今井学長先生にお褒めをいただき、恐縮するとともに、今後の励みになりました。

法要の後、記念講演には国際日本文化研究センターの頼富本宏先生にお越しいただき、釈尊と弘法大師について、釈尊の涅槃と弘法大師信仰について、興味深い内容をわかりやすくお話し下さいました。

また、恒例の明智慶亮ぼたん会には、わざわざ東京から来て、戯曲説法を上演していただきました。演目は新作品の「頼輪僧正」で、ご生涯を音曲にのせて語って頂きました。

このように、今年1年、試行錯誤の中で、いろいろ学ばせていただき、有り難く思っています。来年には、また新しい企画が出るでしょう。同窓会の方々にもぜひお越しいただき、ご覧いただけたらと思っております。



常楽会法要光景

学園祭をふりかえって

綜藝祭実行委員会



学園祭

平成13年11月11日(日)、平成13年度の綜藝祭が開催された。当日は好天に恵まれたためか、予想以上の来場者だった。

今年の催し物のメインは、昨年度に引き続いての芸能人ライブで、今年は、アナム&マキを招いておこなった。メンバーの一人河島アナムは本名で、昨年の逝去が惜しまれている河島英五の娘である。

当初チケットの売り上げが伸びず、とても不安だったが、当日になり完売した上に、追加の席も出さなくてはならないほど超満員になった。

ライブは最初から予想外に盛り上がり、観客がステージの方に押し寄せ始めたのでとても危惧したが、アナム&マキが皆に呼びかけてくれたおかげで、たいした混乱もなく収拾することができた。その後は順調に盛り上がり、観客とステージがとても良い雰囲気の中でライブを終えることができた。最後に多少のトラブルが発生したが、それも大したことがなかったのは幸いだった。後で楽屋に挨拶に行ったときに、アナム&マキの二人から楽しかったという感謝の言葉を聞いたときには、それまでのつらさも一気に吹き飛んだ。

その他、手話部による手話コーラスや、豊山蓮聲会による福祉施設への声明による慰問なども好評を博した。

しかし、反省するべき点も多くみられたので、来年はその轍を踏むことのないように、より盛大な綜藝祭にできるよう努力したいと思っている。

また、今後はOBの方々にも沢山来ていただけるよう、広報面にも重点を置いてゆきたい。

会 員 消 息

慶事

- 山下高仙師(昭62)
平成13年5月16日広島県醫王寺 ご晋山
- 清瀧隆智師(旧名貴子 平10)
平成13年6月2日 ご結婚
- 新見彰堂師(旧姓名高島秀彰 平8)
平成13年6月24日 ご結婚
- 中原康雄師(平成10)
平成13年10月7日福岡県遍照院 ご晋山
- 瓦家敏彦様(平成11)・文子様(旧姓高尾 平成11)
平成13年11月17日 ご結婚
- 上原雅明師(昭和54)
平成13年11月9日京都市大乗院 ご晋山
- 鳥越英徳師(昭和49)
平成13年11月24日京都市神泉苑 ご晋山

訃報

- 室寺節応贈大僧正(昭23)
平成12年1月6日 ご遷化
京都府 観音寺住職
- 鈴木泰圓大僧正(昭和12)
平成12年1月14日 ご遷化
徳島県 萬福寺名誉住職
- 伊藤親亮大僧正(昭11)
平成12年4月24日 ご遷化
京都市 地福寺住職

- 喜多村龍鳳贈大僧正(昭24)
平成12年5月22日 ご遷化
福岡県 大悲王院貫主
- 藤田研道大僧正(昭16)
平成12年6月13日 ご遷化
前真言宗東寺派管長 愛媛県 吉祥寺名誉住職
- 高志慈観僧正(昭16)
平成12年3月23日 ご遷化
大阪府 弘川寺住職
- 佐藤眞榮大僧正(昭16)
平成13年2月3日 ご遷化
広島県 延命院福泉寺名誉住職
- 清瀧英弘大僧正(準)
平成12年12月21日 ご遷化
京都市 廣隆寺長老
- 東野學明大僧正(昭和17)
平成13年7月29日 ご遷化
兵庫県 金蔵寺名誉住職
- 摩尼清之贈大僧正(昭14)
平成13年8月12日 ご遷化
横浜市 勤成院名誉住職
- 岩橋政寛僧正(昭20)
平成13年8月19日 ご遷化
- 杉本勇乘大僧正(昭14)
平成13年11月8日 ご遷化
福井県 中山寺名誉住職

種智院大学 入試案内

仏教学部 仏教学科・仏教福祉学科

■平成14年度推薦入学試験・一般入学試験・編入学試験日程

| 試験区分 | 出願期間 | 試験日 | 受験科目 | |
|----------|----------------------|-------------------|-------------|-----------------------|
| 一般入試 | 一般入試2 ^{※1} | 1月26日(土)～2月25日(月) | 本学/2月27日(水) | |
| | 一般入試3A ^{※1} | 2月26日(火)～3月20日(水) | 本学/3月23日(土) | |
| | 一般入試3B | | | |
| | 宗門関係者入試1 | 1月26日(土)～2月25日(月) | 本学/2月27日(水) | 文章表現(作文)・面接 |
| 宗門関係者入試2 | 2月26日(火)～3月20日(水) | 本学/3月23日(土) | | |
| 編入学試験 | 編入学試験5 | 1月26日(土)～2月23日(土) | 本学/2月27日(水) | 小論文 ^{※2} ・面接 |
| | 編入学試験6 | 2月26日(火)～3月18日(月) | 本学/3月23日(土) | |
| 社会人入試 | 社会人入試5 | 1月26日(土)～2月23日(土) | 本学/2月27日(水) | 小論文 ^{※2} ・面接 |
| | 社会人入試6 | 2月26日(火)～3月18日(月) | 本学/3月23日(土) | |

■大学入試センター試験利用(個別試験なし)

出願期間 大学センター試験利用B^{※1}/1月12日(火)～3月12日(火)

※1 一般入試2・一般入試3A・大学入試センター試験利用Bは奨学金給付生選抜を兼ねる。

※2 小論文は出願時提出

詳細についてのお問い合わせ先

〒612-8156 京都市伏見区向島西定請70番地

種智院大学 入試課まで TEL075-604-5600 FAX075-604-5610

『秘蔵記』講伝開筵

種智院大学では、下記のとおり「秘蔵記」の講伝を開筵いたします。諸賢大徳の受法をお待ちしております。

記

伝授阿闍梨 上田靈城僧正(種智院大学客員教授)
 期 間 平成14年度～平成15年度(年間三会・全六会)
 会 所 種智院大学
 許可瀧頂のみ総本山泉涌寺道場
 受 講 料 80,000円(テキスト代含まず)
 定 員 200名(申込順)
 申 込 期 限 平成14年2月28日(水)

資料請求・申込方法等の問い合わせ先

〒612-8156 京都市伏見区向島西定請70番地

種智院大学 秘蔵記講伝係まで TEL075-604-5600 FAX075-604-5610